

【評価の方法】

1 財務面に係る評価 目標の達成状況

- ① 5か年合計での経常利益確保を目標とするもの
→ 目標値と決算累計値見込値を比較する。
令和7年度の決算累計値見込値が、
- ・ 目標以上の経常利益を確保する見込みであればA評価、
 - ・ 目標とする経常利益を概ね確保する見込みであればB評価、
 - ・ 目標とする経常利益を確保できない見込みであればC評価とする。
- ② 毎期の経常利益確保を目標とするもの
→ 経常利益を確保すればA評価、経常損失の場合はC評価とする。

区分	評 価	
A	①目標達成（100%以上）	②目標達成（経常利益）
B	①目標を概ね達成 （80%以上～100%未満）	
C	①目標を下回る（80%未満）	

2 事業面に係る評価 目標の達成状況

- ① 5か年合計での達成を目標とするもの
→ 各年度の計画累計値と実績累計値を比較する。
- ② 每期設定した計画業務量等の達成を目標とするもの
→ 毎期の目標値と実績値を比較する。

区分	評 価
A	目標達成 （100%以上。ただし、「0件」を目標とする項目は0件）
B	目標を若干下回る（80%以上～100%未満）
C	目標を下回る （80%未満。ただし、「0件」を目標とするものは1件以上該当ある場合）

3 総合評価

1をベースに、2及び事業の取組実績等を総合的に勘案して評価する。

区分	評 価
A	目標達成
B	一部未達成だが、概ね目標どおり
C	目標を下回る